

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (R5年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	地域活動支援センターⅢ型
施設の名称	びあ・ふれんず
施設の所在地	〒381-0034 長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
15人	第1・3月曜9:30～15:00(15:00～職員ミーティング) 火～土曜(祝日、年末年始を除く)9:30～17:00	634.25㎡	S造 2階建て	945.46㎡
開所年月日	平成19年 4月 1日	責任者(職名)	主任・1名	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 ・地域で暮らしている障害をもつ方が家・職場など以外で過ごせる場所、気軽に立ち寄れる場所であること。また、同じ悩みを持つ仲間と出会える場所となり、情報交換や企画参加を通して、交流を深め、趣味を広げたり、生活手段を楽しく身につけられる場所となる。利用する人と人、地域、社会資源の橋渡しの役割を担いながら、【社会(地域)の一人として自分らしく生きる】を応援し続ける場所になる。</p> <p>【事業計画】 ・高田地区、びあ・ふれんず近辺の住民の方に「信濃の星・地域活動支援センター」の存在と活動内容を知ってもらうために、また、地域の住民として受け入れて頂けるように、地区の方との接点を持つ努力(行事にも目を向ける)をする。びあ・ふれんず通信など情報発信をしたい。地域の一員としての意識を持つように努める。 ・近隣地区内の小・中学校へ、障害理解を呼びかける行動をし、緊急時には助け合える関係作りをしたい(当事者と交流する機会を設ける) ・近くの事業所(福祉・高齢者)との交流する機会を設け、行き来できる環境作り。 ・びあ・ふれんず内では、日中活動を通じ生活力を身につける講座、自立生活実現のための講座(金銭管理・生活全般)、レクリエーションを通じ身体機能の向上を目指す教室などを定期的に開催する。障害・年齢に関係なく参加できるお茶会・バス企画など、楽しみながら社会参加や体験ができる企画を提案し実行する。利用する一人一人にあった過ごし方、ステップアップを一緒に考える。びあ・ふれんず利用目的を確認する時間を作る。 ・利用する方の願いに耳を傾け、活動に活かしていく。 ・長野市出前講座を利用し、みんなが一緒に学ぶ機会を作る。 ・赤い羽根共同募金を頂き、居心地よい地域活動支援センターのためにご厚意を役立てる。</p>			
目標	<p>①1日の利用者目標を平均15人以上を目指す。定期的に来所している方の継続支援、紹介された方の利用への誘い支援を行なう。一人一人の希望・困った事・必要な事に寄り添える職員を目指し、みなさんが毎日来所したくなる、地域活動支援センターと一緒に考える。 ②視覚障害者当事者の方、ボランティア団体、関係団体との繋がりを大切にし、連絡会(進め方案の相談から機器の使い方講座・利用支援の方法など)の実施を働きかける。 ③レクリエーション企画、市の派遣講座など、補助金を頂ける企画を10回は実施する。 ④職員の障害理解のための勉強会・多方面との情報交換会に積極的に参加する。</p> <p>【自立講座】 ①生活に活かせる講座として毎年実施する。広い分野からの外部講師を招いて実施する。 ②実施している内容が、利用者の身近なことで、生活に役立つ事を心掛ける。実施後の感想も次の参考にする。 ※みんなが「びあ・ふれんずに行きたい」と思う地域活動支援センターを継続する。</p> <p>【送迎の実施】 ①身体障がい者の方を優先的に、半径約3*。範囲内での送迎の実施し、来所への道を作る。 ※他の障がい者の方は、状況や事情により相談に応じる。</p>			
職員配置(職名・氏名)	所長・1人 主任・1人 支援員・1人 補助支援員・1人			
利用者の状況	地活利用:計3500名(延べ希望人数) ※令和4年度 延べ人数約3200人(3月は見込み人数)			
送迎状況	事業所から半径約3km圏内に暮らす身体障がい者の送迎を優先的に行う※送迎は要相談			
利用対象者	身体障害者を中心として三障害受け入れ			
利用の料金・費用	利用料・登録料なし/企画により実費負担あり/飲み物有料あり/送迎費1回1人100円			
事業内容	<p>【事業内容】 ①基礎的事業…障害者等に対し、創作的活動、生産活動の場の提供・支援 ②機能強化事業…就労が困難な障害者に対して、生活訓練、社会適応訓練などへの情報提供、支援(生活に密着した経験、個別利用計画の作成、目標に向けた体験や学習)仲間意識の構築</p> <p>【1日の流れ】 開館から12時まで、13時から15時までを活動時間とする。活動内容は基本は自分で決める。13時から15分程度、部屋の掃除を一緒に行う。お茶や休憩は随時各自でとる。その後、閉館までは自由に過ごす。相談がある場合は、状況に応じて受ける。</p> <p>【開館日・時間】 第1・3月曜日9:30～15:00 1・3以外の月曜日9:30～17:00 火～土9:30～17:00 ※日・祝日・年末年始休みあり ・お盆は変動あり</p>			
収入の見込み(年間)	補助金収入	7,500,000	共同募金	100,000
			その他収入	150,000

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (R5年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	指定(特定・一般・児童)相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業・障害支援区分認定調査・個別避難計画作成と更新
施設の名称	まい・すてっぷ相談支援室
施設の所在地	長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構 造	敷地面積
なし	月曜日～金曜日 8:30～17:30 (国民の祝日 及び12/29～1/3 を除く)	634.25㎡	S造 2階建て	945.46㎡
開所年月日	平成10年10月1日	責任者(職名・氏名)	所長 1名	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 障害児者の生活に係る様々な困難や問題の相談に対し、専門的な知識を以って支援を行う。</p> <p>【事業計画】 1.利用者の意思及び人格を尊重し、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮した相談支援を行う。 2.行政、地域の保健医療福祉、多職種と連携をとり、社会資源の開拓に努める。 3.積極的に新規ケースの受け入れをおこない実績を維持向上する。 4.自ら、また相互にその提供する計画相談の評価を行い常にその改善を図るよう努める。</p>
目標	<p>1、相談者のニーズに寄り添い求める生き方を尊重し、丁寧な相談支援を行なう。 2、スキルアップの研修や勉強会に参加し資質の向上と人材の育成を目指す。 3、積極的に新規ケースの受け入れを行い、計画相談件数の維持向上に努める。 4、地域や他職種と連携を図りチームアプローチのための知識と技術を習得する。</p>
職員配置(職名・氏名)	<p><所長> 相談支援専門員 1名 <主任> 相談支援専門員 1名 相談支援専門員 2名</p> <p><出向> 長野市委託相談員 1名 長野市北部相談支援センター <出向> 長野市委託相談員 1名 長野市南部相談支援センター</p>
利用者の状況	計画相談支援件数 420件 ※令和5年3月1日現在 (前年度441件)
送迎の状況	なし
利用対象者	長野市全域の 障害者と障害児 (その他の地域は要相談)
利用の料金・費用	なし (法定代理受領による)
事業内容	<p>【計画相談】 ①指定(特定、一般、児童)相談支援事業、長野市ケアプラン作成事業 ・サービス等利用計画の作成、モニタリング ・日常生活用具や補装具の相談及び給付のための支援。 ・介護保険移行の説明と手続き、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携。 ・日常生活自立支援事業、成年後見制度・権利擁護等の説明と必要な支援と対応。 ・虐待や人権侵害、差別ハラスメント、不適切な身体拘束の防止と通報等の然るべき措置。 ・感染症や災害発生時の緊急的な支援の必要業務。 ②給付管理と法定代理受領証の作成と発行。 【社会資源開拓のための事業所見学や、知識向上のための研修会等参加】 【障害支援区分認定調査】 【個別避難計画の作成と更新】</p>
収入の見込み(年間)	28,700,000 円

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	長野市障害者相談支援事業
施設の名称	まい・すてっぷ相談支援室(長野市委託事業)
施設の所在地	長野市大字高田1134-1 【出向先】 長野市北部障害者相談支援センター(長野市大字南長野新田町1485-1 もんぜんぶら6階会議室602) 長野市南部障害者相談支援センター(長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階)

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
なし	月曜日～金曜日 8:30～17:15 (祝日及び12/29～1/3を除く)			
開所年月日	平成10年10月1日	責任者(職名・氏名)	北部センター長 1名 南部センター長 (長野市社会事業協会)	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>長野市内の総合相談窓口の役割を果たす長野市障害者相談支援事業は、平成18年度から市内の社会福祉法人に委託、サテライト型(8カ所の相談支援センター)で実施されてきた。平成30年度より、長野市の障害者相談支援体制強化のための検討が行われ、令和元年7月 南部障害者相談支援センターが、令和3年4月に北部障害者相談支援センターが設置された。それに伴い、法人より2名の専門員(専任)が南部・北部のセンターへそれぞれ出向となり、法人業務と兼務で、1名が北部センターの管理者に就いている。</p> <p>【基本方針】 住みなれた地域で、安心して暮らすことは誰もが望んでいることである。障害のある人が生活をしていく中で直面する、様々な困難や問題について相談に応じ、長野市でその人らしくいきいきと暮らしていくための支援を行っていく。</p> <p>1.総合相談窓口としての役割:生活の中で起こりうる問題を一緒に考え、福祉サービスに限らず、様々な分野の関係者とのネットワークを活かし支援していく。</p> <p>2.地域の相談支援体制を支える役割:長野市で安心して暮らすためには、重層的な相談支援体制やセーフティネットが必要である。関係機関との連携を深め、多様な視点での支援ができるよう努める。</p> <p>3.地域作り:長野市障害ふくしネット(協議会)の機能を活用し、長野市で障害のある人が生活する時にぶつかる課題について、具体的な改善・解決にむけての取り組みを行う。</p> <p>4.本人主体の支援、エンパワメントと権利擁護の視点による支援:相談者の思いや願い、価値観、スピードなどを受け止めながら相談をすすめていく。</p> <p>【事業計画】 障害者相談支援センターの専門員として、地域住民からの相談の入口を担当し、子どもから成人、障害種別を問わず、様々な不安や課題についての総合相談窓口として相談事業にあたる。また市内の相談支援体制の強化、及び長野市内の相談支援事業所の人材育成の支援、地域との関係機関との連携、協議会(長野市ふくしネット)への参画による地域づくりに取り組む。</p>			
目標	<p>令和6年度に、長野市に基幹相談支援センターが設置される予定となった。南北相談支援センターの体制となって3年目を迎えるため、これまでの業務の振り返り、委託相談の役割整理を行う中で、車の両輪と言われる「個別の相談支援」と「地域の基盤整備」を充実させるべく取り組んでいく。</p> <p>○個別の相談支援においては、専門員のスキルアップと業務の標準化に取り組み、様々な相談に対応していけるよう関係機関との連携・協働関係を築き、安心して相談ができる信頼される障害者相談支援センターを目指す。</p> <p>○長野市障害ふくしネットなどを通じて、地域課題に取り組むための基盤作りに、引き続き取り組んでいく。</p>			
職員配置(職名・氏名)	<p>長野市北部障害者相談支援センター 管理者(所長) 1名(法人業務と兼務) 専門員 1名(出向) 長野市南部障害者相談支援センター 専門員 1名(出向)</p>			
利用者の状況				
送迎の状況	なし			
利用対象者	主に長野市内に住む障害児者と家族および関係機関 ※手帳の有無は問わない			
利用の料金・費用	なし			
事業内容	「長野市障害者相談支援事業委託仕様書」に基づき事業を行う。 ※委託期間は令和3年4月1日～令和6年3月31日。長野市との契約は1年毎の更新。			
収入の見込み(年間)	行政委託	北部:7,200,000円(予定) 南部:6,500,000円(予定)	その他事業	

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (R5年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	生活介護
施設の名称	ぴあっと ぴあっと城山
施設の所在地	長野市箱清水2丁目11-2 長野市箱清水2丁目15番21号

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
28人	月～土 9:00～16:00 (年末年始休み)	271.02㎡ 155.55㎡(城山)	鉄骨・平屋建て	
開所年月日	平成19年11月1日 令和2年4月20日(城山)	責任者(職名・氏名)	所長 1人	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう入浴、排泄及び食事介助、創作活動などの機会を提供しその他の便宜を適切かつ効果的に行う。また地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと等、総合的かつ計画的な支援を行う。</p> <p>【事業計画】 (1) 利用者のニーズをもとに個別支援計画(生活介護支援計画)を立て、毎日、ミーティングを行い職員全員で支援内容について意見交換と検討をする。その計画に沿って支援を行い6ヶ月でモニタリングを行い、1年を通して目標達成を目指す。 (2) 新規利用者の受け入れを積極的に行い、定員人数まで拡大していき給付額を上げていく。 (3) 法人の倫理綱領に基づき、障害者支援の専門職として介護技術を始め、虐待防止等の研修を受け支援内容の質と向上を図る。</p>
目標	<p>(1) 利用者の生活面の向上と身体面の機能維持・向上を目指す。 (2) 利用者のニーズ(入浴や外出希望)に応え安心・安全な入浴と、日中活動または行事において季節に合わせた外出企画を行っていく。入浴・外出を楽しみたい方の新規利用者の確保につなげる。 (3) 職員ミーティングで介護技術や虐待防止・権利擁護学習を定期的に行い、職員のスキルアップを図る。</p>
職員配置(職名・氏名)	<p>所長兼サービス管理責任者: 1名 主任: 1名(ぴあっとまつおかと兼務) 生活支援員: 5名 事務兼生活支援員: 1名 調理職員兼生活支援員: 1名 調理職員: 2名 掃除・生活支援員: 2名 看護師: 2名 運転手: 1名</p>
利用者の状況	身体 精神 知的
送迎の状況	送迎あり キャラバン1台、軽ワゴン車1台、普通車3台(全車 車いす可)
利用対象者	身体を主とする三障害
利用の料金・費用	サービスに要した費用の原則1割。又は利用者本人等の負担能力に応じ、市町村が定めた額プラス 実費、1日につき昼食代350円とお茶代50円。水道光熱費(入浴のない方)100円/日 水道光熱費(入浴のある方)100円/日+150円/1回。
事業内容	<p>【生活介護事業】 ・利用者が生活をしていくために必要な、食事、入浴、排泄、移動等の生活支援また、健康・体調を把握し、日中の場として安心して快適に過ごして頂く。また、生活介護計画を作成し一人一人のニーズの把握・利用者の自立した生活や楽しみを高めていけるよう支援していく。</p> <p>【年間行事】 ・通所合同お花見・美術館見学・夏まつり・運動会・クリスマス会・新年会等の行事を提供する。《コロナ感染の状況により行事変更していく》 ・ぴあっとデリを活かし、利用者様の誕生日に好きなメニューをリクエストしてもらいお祝いメニューの提供。 ・年2回 避難訓練実施</p> <p>【日中活動】 ・付近散歩・PC・塗り絵・折り紙・ペーパークラフト・イラスト・麻雀・キーホルダー作り・籐工芸等、個人の趣味や楽しみ、残存機能を生かした活動の提供と支援。</p>
収入の見込み(年間)	55,000,000 円

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (R5年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	生活介護
施設の名称	びあっと・まつおか
施設の所在地	長野市松岡1丁目13-11

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
20人	月～金 9:00～16:00 (年末年始休み)	303.29㎡	平屋建て	713.80㎡
開所年月日	平成26年12月1日	責任者(職名・氏名)	所長 1名	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む事が出来るよう入浴、排泄、及び食事の介護、創作活動などの機会を提供しその他の便宜を適切かつ効果的に行う。また地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと等、総合的かつ計画的な支援を行う。</p> <p>【事業計画】 (1) 令和6年度より医療的ケアが必要な利用者を主とした事業所とする計画が統括会議にて承認され、今年度においてはその移行期間として関係各所に事業計画を告知するとともに対象利用者の受け入れを始めていく。 (2) 医療的ケアの利用者を想定した日中活動内容を確立する。 (3) 法人の倫理綱領に基づき、障害者支援の専門職として介護技術を始め、虐待防止等の研修を受け支援内容の質と向上を図る。 (4) 医ケア者に対する知識等を高めるため、各種講義、委員会に参加する。</p>
目標	<p>(1) 利用者の生活面の向上と身体面の機能維持・向上を目指す。 (2) 医ケア者とその家族が安心して地域での生活が送れる事ができるように事業を行う。 (3) 利用者のニーズに応え安心・安全な活動を行う。季節に合わせた企画を行っていく。医療的ケアの必要な方の新規利用者確保に繋げていく。 (4) 職員ミーティングで介護技術や虐待防止・権利擁護学習を定期的に行い、職員のスキルアップを図る。</p>
職員配置(職名・氏名)	<p>所長(サービス管理責任者兼務) 1人 主任 2人 生活支援員 1人 看護師 2人 運転手 1人</p>
利用者の状況	身体 精神 知的
送迎の状況	送迎あり キャラバン3台、普通車1台、軽自動車1台 (全車 車いす可)
利用対象者	身体を主とする三障害
利用の料金・費用	サービスに要した費用の原則1割。又は利用者本人等の負担能力に応じ、市町村が定めた額プラス 実費:昼食代250円(食事提供加算有)、お茶代:利用1回につき50円、水道光熱費実費の一部負担利用1回につき100円(入浴有の場合350円)
事業内容	<p>【生活介護事業】 利用者が生活をしていくために必要な、食事、入浴、排泄、移動等の身辺介護と健康・体調を把握し、日中の場として安心して快適に過ごして頂く。また、ニーズに合った活動や行事を通して、自立した生活や楽しみを高めていけるよう支援していく。 他の事業所では受入れが難しい医療ケア者の受入れと支援。</p> <p>【日中活動】 光や音、香り等の五感を刺激するプログラムを中心に、風や四季を感じることができるよう近くの公園に出掛けたりする等、利用者の身体的負担を考慮した活動を行う。</p>
収入の見込み(年間)	40,000,000円

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労移行支援事業
施設の名称	はたらくびあっと
施設の所在地	〒381-0034 長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
6名	営業時間 月～金 8:30～17:30 利用時間 月～金 9:30～16:30	634.25㎡	軽量鉄骨	945.46㎡
開所年月日	平成 20年 11月 1日	責任者(職名)	所長 :1名	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p>基本方針</p> <p>①【主体性】働きたいという利用者の思いを尊重し、最適な就労先、手法を一緒に考え、長く勤めることができる就労を支援します。</p> <p>②【生活支援】就労を維持していくために健康の保持と生活リズムの安定、社会的マナーの向上を目指し、安定した生活が送れるよう健康面、精神面併せて支援します。</p> <p>③【地域福祉】地域の社会資源である福祉施設として、地域・行政・ボランティア等関係各方面との連携に努め、相互理解と交流を継続し持続可能な地域福祉の充実に貢献します。</p> <p>令和5年度事業計画</p> <p>①【利用者個々の特性にあった就職先の確保】ハローワークを活用し、利用者の希望、能力、適正にあった就職先を選定し、その仕事のより深い理解を促します。短期トレーニング、職場実習を必要に応じて行い就職への不安を取り除き、安定し長く勤められるよう支援を行います。通所が難しい障害をお持ちで将来テレワークを目指す方には在宅訓練を行える体制を整え、在宅就労先の開拓を進めてゆきます。</p> <p>②【生活支援の充実】相談支援専門員、医療機関と連携し、それぞれの課題を明確にし、社会的マナーの向上、生活リズムの安定を目指します。</p> <p>③【職場定着支援の充実】就労支援員、ジョブコーチ、障害者就業・生活支援センター等と必要に応じ連携をとり、各自の状況に応じた定着支援を行い、事業所は身近な応援者としての支援を行います。6ヶ月の定着支援後も希望される方には定着支援事業へ支援を引き継ぎ安定した就労となるよう支援します。</p> <p>④【実践的な訓練】社会が求める仕事の意義を理解するため、外部からの仕事は、求められる内容、完成度を理解し、正確、迅速に仕上げられるように支援します。</p> <p>「在宅就労」での就職を数多く実効してきた実績を活かし、より実践的な「在宅訓練」を行います。テレビ会議システムを使用した訓練の実施や各種ツールの使い方を学び就職に繋がります。</p> <p>⑤【就労アセスメントの実施】就労移行支援事業所が行える就労アセスメントの利点を活かし、関係機関へアピールをおこない利用者の確保に繋がっていきます。</p>
目標	利用者個々の特性を理解した就労へのチーム支援をおこなう。就労や生活に対する不安を取り除く傾聴をし、就職に向けて個々の強みを更に高め、自信を持ち継続して仕事ができる支援から確実に定着していただける支援を行う。
職員配置(職名・人数)	所長・サービス管理責任者/1名 就労支援員・事務兼務/1名 職業指導員専従/1名 生活支援員兼務/1名
利用者の状況	身体: 名、精神:2名、
送迎の有無	有り 送迎車2台 車いすの方1日2名まで対応
利用対象者	障害者
利用の料金・費用	有り
事業内容	<p>【就職支援】利用者個々の特性に対応した丁寧な個別支援計画を作成し、計画に沿ってチームでの支援を行います。パソコンコースでは、基礎技術の習得から応用力が身に付くよう指導します。受託作業を通じて仕事のより深い理解を促し、職業理解を進め、自信を持って就労できるよう支援します。就労準備段階では、日頃のコミュニケーションからビジネスマナーを身に付け、どのような業種にも通じる社会性を高めます。就職に向けての訓練、相談、関連機関との連携、企業との連携をし、就労後も安定して継続できるよう、定着支援に繋がります。</p> <p>【健康管理支援】健康、体力の維持増進を図るため、利用者個々に対して健康管理指導をします。また、利用者自身が健全な生活習慣を維持し、健康への関心を高められるよう、生活面はバランス良い食事指導、新型コロナウイルス感染症などへの対応など積極的に健康管理ができるよう支援しています。</p>
収入の見込み(年間)	28,130,000円 (はたらくびあっと全体)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労継続支援B型事業
施設の名称	はたらくびあっと
施設の所在地	〒381-0034 長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
14名	営業時間 月～金 8:30～17:30 利用時間 月～金 9:30～16:30	634.25㎡	軽量鉄骨	945.46㎡
開所年月日	平成 24年 5月 1日	責任者(職名)	所長:1名	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p>基本方針</p> <p>①【主体性】利用者の多様性を尊重し、コミュニケーションの大切さから社会の一員として、意欲をもちその人らしい生活を送り、活動に取り組める場を提供していきます。</p> <p>②【生活支援】健康の保持増進と、精神面の安定、快適かつ生活リズム、社会的マナーを身につけることを目指し、安定した生活が送れるよう健康面、精神面併せて支援します。</p> <p>③【地域福祉】地域の社会資源である福祉施設として、地域・行政・ボランティア等関係各方面との連携に努め、相互理解と交流を継続し持続可能な地域福祉の充実に貢献します。</p> <p>令和5年度事業計画</p> <p>①【職員研修の実施による支援向上】各種研修を計画的に受講し、他事業所での取り組みの視察、研究などを行い、将来に向けた職員の支援力向上に努めます。</p> <p>②【企業連携・受注先の確保】現在お取引いただいている企業様の他にも取引先の開拓を行い、受注の拡大から工賃アップに取り組めます。また長野市のしごと部会や長野県セルフセンター等で他事業所との情報交換を行い、県庁、市役所を通じた優先調達制度の活用により受注先確保に取り組めます。</p> <p>③【工賃支払】パソコンを活用した受託作業に取り組むのほか、行政、企業様からの受託作業を拡大し工賃アップをめざします。</p> <p>④【スキルアップ】受託作業、パソコンアプリケーションの熟練から、利用者個々の特性にあわせた支援を行い作業の正確性、能力の向上を計ります。</p> <p>⑤【就労支援】B型に在籍されている方の就労への希望を受け止め、その可能性を模索し、就労移行支援へのサービス変更の検討など引き続き就労支援を行います。</p>
目標	利用者個々の特性を理解したチーム支援をおこない、就労や生活への不安を傾聴により取り除き、個々の強みを伸ばし安定して通所することで、就労スキルと工賃のアップを目指す。
職員配置(職名・人数)	所長・サービス管理責任者/1名 職業指導員専従/1名・兼務1名 生活支援員/1名
利用者の状況	身体:8名、精神: 8名、知的:2名
送迎の有無	送迎車2台 車いすの方2名まで対応
利用対象者	障害者
利用の料金・費用	有り
事業内容	<p>【就労支援】利用者個々の希望と作業能力を引き出せるよう援助し、作業を通して働く意義と仕事への理解をを深め、社会の一員としての働いている自覚を持てるよう支援します。生活支援として、利用者一人一人を尊重した個別の目標を設定し、社会人としての自覚をもち、コミュニケーション力が高め、快適で充実したその人らしい生活が送れるよう支援します。</p> <p>【健康管理支援】、健康、体力の維持増進を図るため、利用者個々々々に対して健康管理指導をします。また、利用者自身が健全な生活習慣を維持し、健康への関心を高め生活できるような生活面ではバランスの良い食事指導、衛生面の指導、新型コロナウイルス感染症などへの対応など積極的に健康管理ができるよう支援します。</p>
収入の見込み(年間)	28,130,000円 (はたらくびあっと全体)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労定着支援事業
施設の名称	はたらくびあっと
施設の所在地	〒381-0034 長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
14名	営業時間 月～金 8:30～17:30 利用時間 月～金 9:30～16:30	634.25㎡	軽量鉄骨	945.46㎡
開所年月日	令和 2年 12月 1日	責任者(職名)	所長:1名	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p>基本方針</p> <p>①【主体性】利用者の主体性を尊重し、円滑なコミュニケーションの大切さが就労継続にとって重要であることを理解して貰い、職場での環境整備、コミュニケーションの場の提供、課題の解決に向けた手法を実施します</p> <p>②【生活支援】就労の継続に必要な健康の保持増進と、精神面の安定。快適かつ安定した生活が送れるように健康面、精神面併せて相談支援します。</p> <p>③【地域福祉】地域の企業に採用されている利用者が、地域・行政・ボランティア等関係各方面との連携がとれるように支援し、相互理解と交流を継続して持続可能な地域福祉の充実に貢献します。</p> <p>令和5年度事業計画</p> <p>①【就労定着率実績の向上】定着実績100%のはたらくびあっとを目指し、就職先からも信頼され、利用者が長く安定して就労できるように支援します。</p> <p>②【企業連携】企業側へ求められる合理的配慮の手法を具体的に展開するお手伝いをします</p> <p>③【利用者の確保】安定した就労に繋がるように、丁寧なフォローアップをおこない定着実績を重ね、就労実績をから、相談支援専門員、ハローワーク等での認知をさらに高めます</p> <p>④【スキルアップ】必要な講習会への積極的な参加、関係団体との関係を構築し支援員のスキル向上に努めます</p> <p>⑤【就労支援との連携】就労移行事業所、就労継続B型事業所の連携を進め定着実績を重ねます。</p>
目標	利用者個々の特性を理解し、利用者が安定して就労を継続出来る環境を整え、雇用側と利用者双方の意思疎通を図り、確実な定着支援を行う
職員配置(職名・人数)	所長・サービス管理責任者/1名 就労定着支援員(ジョブコーチ) 兼務/1名 就労定着支援員兼務/1名
利用者の状況	身体:1名、精神:1名、知的: 名
送迎の有無	無し
利用対象者	就労し6ヶ月経った者
利用の料金・費用	初年度無料、その後収入により有り
事業内容	<p>【定着支援】就労移行ならびに、就労継続支援B型より就職し、6ヶ月の定着支援を終了した者に対し、その後3年間の就労定着支援が利用できます。必要に応じて障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、ジョブコーチとも協力し、定着を支援します。</p> <p>また、定期的な相談を通じ、生活リズムや環境の変化などに伴い生じている生活面の課題を把握し関係機関などと連携して解決に向け、指導・助言など支援を行います。</p>
収入の見込み(年間)	28,130,000円(はたらくびあっと全体)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	訪問介護事業 居宅介護事業 同行援護事業 移動支援事業
施設の名称	訪問介護事業所 おたすけ・ぴあっと
施設の所在地	長野市大字高田川端西沖941-5

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
	営業日 月～金(祝日、12/29～1/3を除く) 営業時間:9:00～18:00 サービス提供時間 7:00～22:00(その他相談) 上記営業の他、電話により24時間連絡可能			
開所年月日	平成21年12月15日	責任者(職名・氏名)	所長 1名	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>『基本方針』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿った支援をしていく。 <p>『事業計画』</p> <ol style="list-style-type: none"> ①障害・介護保険・個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を提供する。 ②移動支援・長野市事業実施要綱の趣旨に従い利用者のニーズに沿った支援をしていく。 ③利用者の意思、人格を尊重し、自立した日常生活が送れるように関係機関と連携を密にし、支援していく。
目標	<ol style="list-style-type: none"> ①個別支援計画書に沿った支援が行われるよう、計画書を滞ることなく作成していく。 ②毎月1回ミーティングを行い個々の知識や技術向上に努める。 ③介護保険利用者は、全体利用者の1～2割を目標とする。 ④提供するサービスの質の向上を図り、利用者の満足度を上げていく。 ⑤個々の研修計画に沿った研修を行い、スキルアップを図る。 ⑥特定処遇改善加算の取得をし、職員の処遇を改善する。
職員配置(職名・氏名)	<p>所長： 1名</p> <p>サービス提供責任者： 3名</p> <p>訪問介護員： 10名</p>
利用者の状況	訪問介護:10名、居宅介護:71名、同行援護:25名、移動支援:28名
送迎の有無	なし
利用対象者	居宅介護:身体・知的・精神障害者 訪問介護:65歳以上の要介護者、また40歳～64歳の特定疾患をお持ちの要介護者
利用の料金・費用	居宅介護:利用者の負担能力に応じ市町村が定めた額 訪問介護:サービス費用の1割～3割負担
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> ①担当者会議への出席、個別支援計画書作成、モニタリング、シフト作成、変更・キャンセル等によるサービス調整。 ②給付・請求書・法定代理受領作成、発行。 ③毎月サービス状況報告書を作成し、ケアマネージャー・ケアプランナーに情報提供を行う。また利用者の変化がみられる時はその都度報告を上げていく。 ④空き状況により、営業を行い新規獲得に繋げる。 ⑤ハラスメント、身体拘束、虐待についての必要業務 ⑥感染症や災害発生時の緊急的支援と必要業務
収入の見込み(年間)	53,660,000

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (R5年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	介護保険事業
施設の名称	指定居宅介護支援事業所 おたすけ・ぴあっと
施設の所在地	長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
なし	月曜日～金曜日 9:00～18:00 (土日、祝日及び 12/29～1/3 を除く)	634.25㎡	S造 2階建て	945.46㎡
開所年月日	平成22年3月 16日	責任者(職名・氏名)	所長 1名	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自助、互助、共助、公助を適切に組み合わせ、主体性を尊重し自立した日常生活を営むことができるよう配慮して援助に努める。</p> <p>【事業計画】 1 利用者が自立に向け主体的に関われるケアマネジメントの充実に努める。 2 行政、地域の保健、医療、福祉、多職種とのチームケアを図り、社会資源の開拓に努める。 3 自らその提供する計画書の評価を行い、常に改善に努めることで質の向上に努める。 4 サービス内容を確認し、適切に給付管理を行う。</p>
目標	<p>1 介護施設との連携を図り状況に応じた入所移行支援と新規の受け入れを行うことで安定した実績の向上を目指す。</p> <p>2 コミュニケーションスキルを高め利用者、家族との信頼関係を構築し深める。</p> <p>3 福祉サービスにとどまらず、様々な分野との連携を図り専門性の高い支援を行う。</p> <p>4 個々のニーズに応じ、制度に則った支援を行う。</p> <p>5 介護支援専門員として適切な人材の確保、育成に努める。</p>
職員配置(職名・氏名)	<所長> 相談支援専門員 1名 介護支援専門員 1名 介護支援専門員 未定
利用者の状況	64名(1号被保険者 43名、2号被保険者21名)
送迎の状況	なし
利用対象者	65歳以上の1号被保険者、40歳～64歳の特定疾病がある2号被保険者
利用の料金・費用	なし(法定代理受領)
事業内容	<p>【基本業務】 1 PDCAサイクルに基づいた居宅介護計画書の作成、提案 2 多職種、医療従事者等、関係者との連携を深め質の高いサービスの提供 3 地域の情報収集、情報提供 4 地域包括支援センターとの連携 5 介護認定の申請代行 6 適切な給付管理の実施 7 感染症や災害発生時の緊急的な支援の必要業務</p> <p>【社会資源開拓のための事業所見学や研修会等参加】</p>
収入の見込み(年間)	10,400,000

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	共同生活援助・短期入所
施設の名称	三津和園
施設の所在地	長野市信州新町山上条1561-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
7名 短期入所1名	365日24h	283.61㎡	木造平屋建て	
開所年月日	H21.10引き継ぎ	責任者(職名)	所長1名 (のんびりほ〜む兼務)	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 利用者が地域において共同して日常生活を営むことが出来る様、利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて入浴、排泄、食事等の介助、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。</p> <p>【事業計画】 ・利用者、家族との面談、モニタリングを定期的に行う事でニーズの把握をし、支援計画をもとに目標達成に向けて適切な支援を行う。 ・関係市町村、地域、医療、福祉サービス機関との連携を図りサービスの質の向上に努める。 ・土砂災害・火災などの緊急時避難確保計画に基づいた訓練を年間2回行う。 ・感染症予防対応策や虐待防止などの周知、定期的な研修を継続して行っていく。</p>
目標	<p>1、利用者が充実した生活を送れる様、自己選択、自己決定を尊重し、自立に向けて出来る事は自分で行っていただき、必要な部分に適切な支援を行う。 2、研修や、ミーティング等を通じて職員のスキルアップを図るとともに人材確保も行い、利用者が安全に自立した生活を送れる様努める。</p>
職員配置(職名・人数)	サービス管理責任者(管理者兼務) : 1名 生活支援員4名、世話人5名
利用者の状況	身体2名、知的4名、精神1名
送迎の有無	有 新町授産所・外出レク・通院・緊急時等
利用対象者	障がいの種別問わず
利用の料金・費用	家賃・食費・光熱費・日用品・送迎費用など 月額70,000円～80,000円
事業内容	<p>(1) 共同生活を営むべき住居に入居している利用者に対し、一日を通し住居において行われる入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び、助言、通所先その他関係機関との連絡、その他必要な日常生活上の支援を行う。 (2) 利用者が安心して有意義な生活を送れるように、職員の定着を図る。その為には利用者のニーズ等を(個別支援計画)職員全員が確実に把握をし、日々の変化等、申し送りを周知徹底することで、職員の責任感と意識を高める。 (3) 利用者の金銭の取り扱いには十分注意をする。又利用者が計画的に金銭を使っている様に必要時には助言を行う。 (4) 地域の住民との交流を図る。まずは職員、利用者ともに住民との挨拶を徹底し、ゴミ出しや雪掻き、草取りなどマナーの徹底に努める。 (5) 個別支援計画の検討や見直しをミーティング等で定期的に行う。 (6) 感染症予防対策をし余暇活動を行う。</p>
収入の見込み(年間)	¥18,572,000

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	共同生活援助・短期入所	
施設の名称	のんびりほ～む、のんびりほ～む・お2かい、のんびりほ～む・もも、のんびりほ～む・おとこぐみ、のんびりほ～む・さくらがおか	
施設の所在地	のんびりほ～む、お2かい、もも おとこぐみ さくらがおか	長野市稲葉2320番地1 長野市大字七瀬中町211番地15 長野市高田川端西沖941番5

2 施設概要

定員		営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
のんびりほ～む	5名	24時間体制(365日)	200.39㎡	木造2階建て1F	479.32㎡
もも	7名		155.98㎡	木造1階建て1F	
おとこぐみ	4名		132.80㎡	鉄骨造	544.92㎡
お2かい	7名		155.98㎡	木造2階建て2F	479.32㎡
さくらがおか	8名		200.43㎡	鉄骨造	492.31㎡
短期1名	短期1名				
開所年月日	のんびりほ～む、もも おとこぐみ お2かい さくらがおか	平成23年5月1日 平成23年8月1日 平成27年4月1日 平成28年4月1日	責任者(職名)	所長 1名 (三津和園兼務)	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 利用者が地域において共同して日常生活を営むことが出来る様、利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて入浴、排泄、食事等の介助、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。</p> <p>【事業計画】 ・利用者、家族との面談、モニタリングを定期的に行う事でニーズの把握をし、支援計画をもとに目標達成に向けて適切な支援を行う。 ・関係市町村、地域、医療、福祉サービス機関との連携を図りサービスの質の向上に努める。 ・水害・火災などの緊急時避難確保計画に基づいた訓練を年間2回各住居ごとに行う。 ・感染症予防対応策や虐待防止などの周知、定期的な研修を継続して行っていく。 ・GH新設、おとこ組を移転する。移転後は定員を7名にし現状のおとこ組赤字を解消していく。それに伴い男性の副所長と女性主任を配置していく。 ・障がい者雇用受け入れ継続していく。</p>
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が充実した生活を送れる様、自己選択、自己決定を尊重し、自立に向けて出来る事は自分で行っていただき、必要な部分に適切な支援を行う。 ・研修や、ミーティング等を通じて職員のスキルアップを図るとともに人材確保も行い、利用者が安全に自立した生活を送れる様努める。 ・副所長と主任を配置する事により利用者のニーズとモニタリング、計画書が今以上に充実していく。 ・障がい者の雇用が定着出来るようにする。障がい者雇用への職員の理解を深めていく。
職員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者 所長：1名（三津和園兼務） ・副所長、サービス管理責任者兼務 1名：のんびりほ～む、お2かい、おとこ組、新設GH ・主任、サービス管理責任者兼務 1名：もも、さくらがおか ・生活支援員11名、世話人8名、障がい者雇用2名（さくらがおか）
利用者の状況	身体23名、知的5名、精神3名
送迎の有無	緊急時等対応
利用対象者	障がいの種別問わず
利用の料金・費用	家賃・食費・光熱費・日用品など 月額70,000円～80,000円
事業内容	<p>(1) 共同生活を営むべき住居に入居している利用者に対し、一日を通し住居において行われる入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び、助言、通所先その他関係機関との連絡、その他必要な日常生活上の支援を行う。</p> <p>(2) 利用者が安心して有意義な生活を送れるように、職員の定着を図る。その為には利用者のニーズ等を(個別支援計画)職員全員が確実に把握をし、日々の変化等、申し送りを周知徹底することで、職員の責任感と意識を高める。</p> <p>(3) 利用者の金銭の取り扱いには十分注意をする。また利用者が計画的に金銭を使っていける様に必要時には助言を行う。</p> <p>(4) 地域の住民との交流を図る。まずは職員、利用者ともに住民との挨拶を徹底し、ゴミ出しや雪掻き、草取りなどマナーの徹底に努める。</p> <p>(5) 個別支援計画の検討や見直しをミーティング等で定期的に行う。</p>
収入の見込み(年間)	¥105,260,000

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	地域活動支援センターⅢ型
施設の名称	長野市信州新町地域活動支援センターⅢ型 つくし
施設の所在地	長野市信州新町山上条1561-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
概ね 10人	月～金曜日 (土日 祝祭日・盆、年末休み) 8:30～16:30	250, 39㎡	木造平屋	㎡
開所年月日	平成 21 年 10月 1日	責任者(職名・氏名)	所長	1名

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>【基本方針】 障害者に対して、「創作的活動や生産活動」の機会を提供し、「技能の習得又は就労の機会や喜び」を目指し社会生活への適応性を高める為、生活支援を含め自立と社会経済活動(イベント・販売等)へ積極的に参加出来る様に促進し支援を行う。</p> <p>【事業計画】 ①農業関係での生産 (野菜を少量露地栽培やきのご原木栽培 等) ②収穫野菜等の販売活動(行商・ロコミやイベント等の販売 等) ③収穫野菜等を主体に加工販売 (ノフクマルシェ等の販売イベント参加 各種施設、企業への訪問販売 等) ④老人ホーム 公共施設 等の委託清掃活動 及び 新規開拓 ⑤パソコンでのデザイン印刷作業を中心とした、DVD編集やオリジナル商品開発販売活動 ⑥各種レクリエーション行事 (お花見 収穫祭などの 食事会) ⑦職員研修の実施 (日中活動や虐待 等の研修、他事業所への見学や情報交換会) ⑧歳末たすけあい募金特別配分への申請</p>		
目標	<p>農産物を育成する事で得る、収穫の喜びや販売活動を通じて様々な人々との交流による人格の向上を目指します。また、清掃活動による美化整頓の喜びを見出します。パソコン業務による受注生産納品と一連の作業の中でオリジナリティーを育み就労の喜びを見出します。各種レクリエーション行事を企画、参加する事で、様々な世代を超えて交流し働くだけでなく地域活動を含め、日中活動に喜びや心の豊かさを見出します。</p>		
職員配置(職名・氏名)	<p>所長(農業支援員兼務) 1人 清掃支援員 1人 パソコン支援員 1人 *各種支援員については、状況により兼務します</p>		
利用者の状況	<p>現在5名 (知的2名 精神0名 身体1名 高齢者1人+予定1人)</p>		
送迎の状況	<p>送迎 有(つくし～水防会館 その他状況により応相談) 軽バン 1台 車椅子不可</p>		
利用対象者	<p>身体、知的、精神障害者、高齢者</p>		
利用の料金・費用	<p>利用者の料金は無料 実費負担有り 工賃有り(300円～15,000円 歩合制)</p>		
事業内容	<p>農業・清掃活動・パソコン業務を通じて、個別支援計画を基に個々の能力にあった活動の支援を行い、更なるスキルアップを目指し就労への意欲や喜びを見い出せる支援を行います。様々な作業の機会を通じて、皆と共同で作業をし何かを得る喜びが見い出せる支援を行います。健康面での支援や生活習慣等の細やかな生活支援を行います。</p>		
収入の見込み(年間)	11,318,000円	共同募金	100,000

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	就労継続支援B型事業
施設の名称	ぐーと
施設の所在地	長野市稲里町下水鉋字北河原1315-2

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
20名	9:00~15:30(利用者受入時間)	270.0㎡	鉄筋1階建	553.9㎡
開所年月日	平成22年4月1日	責任者(職名・氏名)	所長 1人	

3 基本方針

基本方針・事業計画	<p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通じ、働くことの喜びや楽しさを、障がい者の方が個人の能力を生かし意欲を持ち、継続的に自己実現に向かい活動できる拠点づくりを目指す。 ・相談や面談を通じ個々のニーズに合わせた個別支援計画を作成し、利用者個々の特性に配慮し無理することなく、その日その日を心穏やかに過ごしていただくよう支援して行く。 <p><事業計画></p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者のニーズや能力をもとに職員間で支援内容を検討し個別支援計画を立て、それに沿って支援していく。 ②地域の企業や他事業所と関わる事により、新たな仕事の受注を増やし多様な生産活動を増やしていく。それにより利用者の選択肢の幅を広げ、働く喜びや社会活動の参加につなげていく。 ③食品において安全かつ安定した商品の製造・販売が行えるようHACCPに従い衛生管理を徹底する。またお客様の期待に応えられる魅力ある商品作りを目指す。 ④接客マナー、食品衛生責任者講習、調理師免許取得、虐待防止・権利擁護研修などの職員研修実施により専門性を高め支援の向上につなげていく。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心して、安定した通所ができるように個々にあった支援プランを作成し、作業技術・日常マナーの習得の支援をしていく。多様な活動の機会を増やし安定した仕事の確保により工賃アップを目指す。特別支援学校との連携を深め利用者の増員につなげる。
職員配置	<p>所長兼サービス管理責任者 1人 食品衛生管理者兼職業指導管理者 1人 職業指導員 2人 生活支援員 2人</p>
利用者の状況	身体 3名(精神・知的重複含む)精神 6名(知的重複含む)知的9名(精神重複含む)
送迎の状況	ワゴン車1台、車イス対応車2台 計3台
利用対象者	身体、精神、知的 三障がいを対象とし、軽作業が出来る方が中心。
利用の料金・費用	総合支援法で定められた利用料額の1割 昼食代 550円/1食(希望者のみ,食事提供加算対象者は250円)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型事業 利用者自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他必要な支援を行う。 日中において生活リズムや食事等の栄養バランスの指導、生活等に関する相談及び助言その他の必要な生活上の支援を行う。、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために行われる必要な支援を行う。
収入の見込み(年間)	26,125,000

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	社会福祉法人 信濃の星
施設の名称	高田センター内 共同研修センター
施設の所在地	長野市大字高田941-5

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
30人	通年	79.5		
開所年月日	平成21年10月1日	責任者(職名・氏名)	1人	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>共同研修センターでは行政からの民間委託による職業訓練を受託し、介護職員養成訓練を実施している。近年、介護職員養成訓練での受講者が減少しており、定員割れによる中止が、他の訓練機関で見受けられるが、可能な限り受講希望者へ訓練が実施できるよう関連区へ協力・支援を仰ぎ訓練を提供している。また、新型コロナウイルス感染防止として、介護実習を一定の条件において教室での模擬実習とする臨時措置が認められているが、信濃の星では介護従業者としての職業倫理と態度を養いながら、専門的知識と技術の習得を目的とし、より良い人材を育てていく訓練が必要と考える。そのために、介護現場での実習体験を可能な限り提供し、1人でも多くの人間味溢れる介護従業者養成の訓練を行う。本年度は、下記の研修を計画している。</p> <p>《研修実施計画予定》</p> <p>①4月25日～7月24日 介護職員養成研修 3ヵ月コース 定員15名 介護職員初任者研修・移動支援サービス従業者・同行援護従業者養成研修・赤十字救急法・就職支援(ビジネスマナー、キャリアコン、履歴書作成等)、手話・点字・傾聴コミュニケーション・アサーション等のカリキュラム、アクティビティ・サービス、職業人講和(おむつデモンストレーション、認知症理解)</p> <p>②7月26日～10月24日 高齢者介護職員養成講座(50代・60代限定コース) 介護職員初任者研修、同行援護従業者研修、赤十字救急法、傾聴、アサーション、ピアカン、就職支援、職業人講話等で、資格を取得する訓練は年齢を考慮し通常のカリキュラムより時間を多く設定している。</p> <p>③令和5年度後期(10月以降)開講予定 長野県技術専門校のプロポーザル(5月申請)により決定の為、開講時期は未定。訓練内容はプロポーザル内容に準拠するが、なるべく経費がかからないカリキュラムを検討していく。</p> <p>④高齢・障害・求職者支援機構のプロポーザル受託も検討する。③の後期プロポーザル内容によっては、求職者支援訓練も効果的にチャレンジしていく。</p> <p>《法人内講師養成計画》 職業訓練講師として、法人内職員の育成を図る。法定講習は講師要件を満たす職員に業務に支障がない範囲で、講師経験への協力をもらう。また、法定講習以外で、職業訓練で実施可能なスキルを保持している職員の発掘</p> <p>《元訓練生の掘り起こし》 訓練卒業生の現状を定期的にヒアリングし、法人内への就職希望者の確保を図る。</p>
目標	民間委託の研修事業として、より多くの件数を受託できるよう、魅力ある研修プログラムの企画、提案を目指す。その為に、介護に係る環境において、どのような研修が求められているかの情報収集を関連機関と行いながら、年に2回以上の介護職員養成訓練が確実に開催できることを目標とする。
職員配置(職名・氏名)	1人
利用者の状況	求職中で尚且つハローワークに求人登録をし、介護の職業訓練を希望している受講者
送迎の有無	無
利用対象者	職業訓練においてはハローワークに求人登録をしている方を対象
利用の料金・費用	0円(職業訓練は受講料無料。但しテキスト代、赤十字検定費用、実習等演習時の交通費は実費)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県技術専門校より「公共職業訓練」の委託研修事業 ・独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構より「求職者職業訓練」の委託研修事業 ・元訓練生の現状確認及び就職支援 ・法人内講師の増加
収入の見込み(年間)	9,120,000円 ※前期職業訓練において定員15名(4月:3ヵ月)、14名(7月:3ヵ月)、後期訓練において(15名:3ヵ月予定)で3回研修を開催し、全員が修了した場合。また、3ヵ月コースで修了した訓練生8割が、雇用期間の定めなし又は4ヶ月以上の雇用期間での就職に繋がった場合の就職支援金を含む。受講人数、就職者人数により変動あり。

社会福祉法人 信濃の星 事業計画書 (R5年度)

1 事業名・施設の名称及び所在地

事業名	法人事務
施設の名称	法人本部
施設の所在地	長野市大字高田1134-1

2 施設概要

定員	営業日及び営業時間	延床面積	構造	敷地面積
	平日 8:30~17:30 (土・日・祝休み)	634.25㎡	S造 2階建て	945.46㎡
開所年月日	平成16年9月30日	責任者(職名)	事務局長	

3基本方針

基本方針・事業計画	<p>(基本方針)</p> <p>1、法人全体の安定した運営実現のため、各事業所と連携をとりながら、正確で迅速な事務処理を行う。</p> <p>2、役員の方々、会計事務所等の指導、助言に適切に対応していく。</p> <p>3、個人情報情報は慎重に取り扱う。</p> <p>(事業計画)</p> <p>1、監事監査(5月)</p> <p>2、理事会(年5回予定ほか必要に応じて開催)</p> <p>3、評議員会(定時評議員会年1回ほか必要に応じて開催)</p>						
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の方々、各事業所、関係団体等と連携をとりながら、仕事の効率化を図る。 ・研修等に積極的に参加し、知識向上に努める。 						
職員配置(職名・氏名)	<table> <tr> <td>事務局長</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>会計担当者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>労務担当者</td> <td>1人</td> </tr> </table>	事務局長	1人	会計担当者	1人	労務担当者	1人
事務局長	1人						
会計担当者	1人						
労務担当者	1人						
利用者の状況	該当なし						
送迎の有無	該当なし						
利用対象者	該当なし						
利用の料金・費用	該当なし						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経理規程その他法令に基づく会計業務等各種事務 ・就業規則その他法令に基づく労務業務等各種事務 						